平成３０年３月８日

各　　　　位

日本プライマリ・ケア連合学会

北海道ブロック支部長　木村　眞司

第６回北海道地方会実行委員長

小嶋　一

日本プライマリ・ケア連合学会第６回北海道地方会

一般演題（口演）および

「認知症、在宅医療、緩和ケアでうまくいったケース、いかなかったケース報告会」

（ポスター発表）

演題募集のお知らせ

新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より日本プライマリ・ケア連合学会および同北海道ブロック支部に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当支部では平成30年7月に第6回となる地方会を開催します。今回は「認知症」「在宅医療」「緩和ケア」をメインテーマに挙げ、それに関連するメインシンポジウムや講演、ワークショップを企画しているところです。

その地方会での一般演題（口演）およびポスター発表（詳細は後述）を募集いたします。なお昨年ポスター発表でプログラム紹介ができる発表特権(インセンティブ)を用意したところ、発表が盛り上がったことから今回も同様の仕組みを取り入れます。どうぞ奮って応募いただければと思います。

記

１．開 催 日：平成３０年７月７日（土）　　　１３：３０ — １８：３０

　　　　　　一般演題・ポスター発表の時間　１４：００ — １５：００

　開催場所：かでる２・７(札幌市中央区北２条西７丁目)

２．今回の地方会では２つの種類を公募します。

１）一般演題（口演のみ）

発表内容に関しては、学術報告（研究形式のもの）、症例報告・活動報告を受け付けます。今回は、地方会のメインテーマである「認知症」「在宅医療」「緩和ケア」に関する発表を歓迎しますが、その他でもプライマリ・ケアに関する話題も受け付けます。

　２）ポスター発表

「認知症、在宅医療、緩和ケアでうまくいったケース、いかなかったケース報告会」

今回の地方会では「認知症、在宅医療、緩和ケアでうまくいったケース、いかなかったケース報告会」と題して、ポスター発表を公募します。事例の経過、振り返りと考察、そこから得た学びをまとめていただき、発表しコメントしあうような場を考えております。従来の一般演題よりも発表時間を長めにとり、発表者も会場の皆さんも学びが深まるような企画を目指しています。専攻医や各職種で作成するポートフォリオの事例を提出していただいても構いません。また、タイトルにある通り、必ずしも成功事例でなくてもそこにも学びがあると思いますので、気軽に発表していただければ幸いです。

今回は地方会全体のテーマに合わせて「認知症」「在宅医療」「緩和ケア」に関するポスター発表を歓迎しますが、それ以外のポートフォリオにした事例などの発表でも構いません。

３．発表時間、方法

（応募数によって多少変更の可能性があります。）

口演：発表時間６分、質疑応答３分を予定しています。

コンピューター使用（Windows 7＋Microsoft PowerPoint 2010

　もしくはWindows 10＋Microsoft PowerPoint 2016）

当日、ＵＳＢメモリーで発表データを受付時に提出してください。

なお、自分のパソコンで発表を希望する場合は事前に事務局までご相談ください。

ポスター：発表時間９分、ディスカッション５分を予定しています。

縦210cm×横90cmのスペースを用意します。各自でポスターをご持参ください。

またA3やA4サイズで何枚かに分かれても構いません。

画鋲は事務局で用意いたします。

４.発表特権(インセンティブ)　（ポスター発表のみ）

　 ポスター発表する人が本学会の家庭医療後期研修プログラム（総合診療専門研修プログラムを含む）の関係者（専攻医、指導医など）の場合、本地方会において後期研修プログラムなどの紹介を行うことができることとします。希望される場合は、抄録提出時にプログラム名または紹介したい内容をお知らせください。後期研修プログラム以外については実行委員会で検討して可否につきお返事いたしますので事前にお問い合わせください。

プログラム紹介の方法は以下の2つの方法があります。（併用も可能です。）

1. 発表したポスターの横にプログラム紹介のポスターを貼ることができます。

スペースの都合上、1発表あたり1枚です。 プログラム紹介の時間は特別用意しませんが、ポスターで良い取り組みを発表していただくことでプログラムの特徴や魅力が伝わるのではないかと考えております。

1. 当日のプログラムにプログラム紹介のチラシを折り込むことができます。

　　各プログラムA4サイズ1枚（裏表印刷可）で、180枚を印刷して、ブロック支部事務局

　（市立美唄病院）まで6月22日(金)必着でお送りください。

　　ブロック支部での印刷はできませんのでご注意ください。

５．発表演者の資格

　　筆頭演者は日本プライマリ・ケア連合学会会員に限ります。

未入会の方は入会手続きをお願いいたします。共同演者はこの限りではありません。なお、登録した住所が北海道の場合、学会会員になると自動的に北海道ブロック支部会員になります。支部会費（医師の場合5,000円、他医療スタッフ3,000円、学生1,000円）の納入も併せてお願いいたします。

（入会手続き等について、詳しくは日本プライマリ・ケア連合学会および同北海道ブロッ

ク支部のホームページをご覧ください。）

６．申し込み方法

　　抄録を支部事務局へメールにて平成30年5月8日 (火) 必着でお送りください。

　　メールには、代表者氏名、所属、メールアドレスをご記入ください。

　　抄録（ひな形）につきましては、支部のホームページよりダウンロードできます。

支部事務局：hpca.jimukyoku@gmail.com

支部ＨＰ：http://jpca-hokkaido.jp/

７．抄録作成にあたっての注意事項（口演、ポスター発表共通）

1. 抄録の構成

　 学術報告は、研究の目的、方法、結果、考察、結論の項目に分けて記入してください。

　 活動報告・症例報告・「認知症、在宅医療、緩和ケアでうまくいったケース、いかなかったケース報告会」はこのような構造化抄録にする必要はありません。

1. 用紙サイズ、フォント、文字数

　 ひな形にあるＡ４サイズ１枚に収まるように、ＭＳ明朝体、10.5ポイントで、タイトル（50字以内）、氏名、所属（所属は略称可）、抄録本文（800～1200字）でお願いします。この抄録がそのまま抄録集として白黒印刷され、参加者に配布いたします。図表は入れないでください。

８．一般演題（口演）、ポスター発表の採択

地方会実行委員会学術担当にて審査を行い決定いたします。採択通知は、５月中旬から下旬にかけてメールにて行います。

９．問合せ先

日本プライマリ・ケア連合学会

北海道ブロック支部事務局　高倉雄治　(市立美唄病院内)

[hpca.jimukyoku@gmail.com](mailto:hpca.jimukyoku@gmail.com)